

症例報告

症例報告:3カ月の赤ちゃんのマイルストーンについて

育児をされるお父さんお母さんにとって、赤ちゃんの成長は喜びとともに多くの疑問や不安を伴うものです。本記事では、月齢に混じた赤ちゃんのマイルストーンについて詳しく解説します。ベテランの保護者の方々にも参考になる内容を目指しましたので、ぜひご活用ください。

月齢に混じたマイルストーン

出生から3カ月

赤ちゃんが、3カ月頃になると反復の多くは消失していき、身体の制御を行うような動きを獲得していきます。この期間の主な特徴を下記にまとめました。

動きについて

- うつぶせになり頭と胸を上げるようになります。
- うつぶせの状態で腕で上半身を押し上げるようになります。
- 足を伸ばしたり、踢る動作が増えるようになっていきます。
- 手の開排を行うようになります。
- 持ち上げると足を地面に押し付けるような動作を始めます。
- おもちゃを握って口に運ぶようになります。
- ぶら下がっているものを手で追いかけるようになります。

視覚と聴覚について

- 人の顔をじっと見るようになります。
- 物体を追尋するようになります。
- 近くのものや遠いものを見たり認識するようになります。
- 手と目の協調運動を行うようになります。
- 人の掛け声に反応する(微笑むようになります)
- 音の模倣を始めます(クーイングを始める)
- 音の方向に頭を向けるようになります。

感情について

- 微笑みをするようになります。
- 誰かと遊ぶようになります。
- コミュニケーション能力や表現力が身についてきます。
- 表情の模倣をするようになります。

注意が必要な兆候

下記のような兆候が見られる場合は、小児科への相談を検討してください。

- 大きな音に反応しない。
- 2カ月位で自身の手を認識しない。
- 2カ月位で声に反応しない。
- 2カ月位で物体を追視しない。
- 3カ月で物を握ろうとしない。
- 3カ月で微笑まない。
- 3カ月で頭を支えることをしない。
- おもちゃに反応するのに3～4カ月位の期間がかかる。
- 3～4カ月で嘔吐(クーイング)をしない。
- 4カ月で口に物を運ばない。
- 嘔吐を始めても親の真似をしない。
- 4カ月経っても足を地面に置いても押し返す動作をしない。
- 目が全方向に動かない。
- 新しい人に反応しない。又は、新しい環境に極端に怖がる。

月齢に合った成長を確認する重要性

新米の保護者にとって、赤ちゃんの成長が適切かどうか判断するのは難しいものです。しかし、成長段階に応じた適切な刺激がなければ、神経の発達が遅れる可能性があります。その結果、将来的にADHDやASD、コミュニケーション障害などのリスクが高まることもあります。

反復が「起きる」「消失」ということは、身体の統合が起こり、次の運動を獲得する準備ができたことを意味します。運動を獲得する準備が整わないまま月齢が過ぎてしまうと、適切な発

達が阻害される可能性があります。そのため、赤ちゃんの成長をしっかり観察し、月齢に応じた発達が進んでいるか確認してあげることが大切です。

乳幼児期の成長は、大人になったときの健康や生活の質に大きな影響を与えます。そのため、赤ちゃんが月齢に応じたマイルストーンを達成しているかどうかを定期的に確認することが重要です。

赤堀鍼灸接骨院のアプローチ

赤堀鍼灸接骨院では、赤ちゃんの成長サポートだけでなく、家族全体の健康改善を目指した治療を提供しています。特に、自律神経の調整を通じて、健康的な身体づくりをサポートしています。

主なアプローチ

1. 個別の治療プラン 患者様一人ひとりのニーズに合わせたオーダーメイドの治療プランを提供。
2. 自律神経のバランス調整 赤ちゃんの成長に重要な神経系の調整を重視。
3. 継続的な経過観察 健康の維持には定期的なケアが不可欠です。

健康的な育児生活へのアドバイス

- 赤ちゃんの成長に必要な刺激を適切に与えましょう。
- 疑問や不安があれば、専門家に相談することをためらわないでください。
- 日常生活の中で、赤ちゃんとも目を合わせたり話しかけたりすることで、神経の発達を促します。

赤ちゃんの健やかな成長は、家族全体の幸せにもつながります。赤堀鍼灸接骨院では、専門知識と技術を活かし、赤ちゃんと保護者の皆様をサポートいたします。詳しいご相談は、お気軽にお問い合わせください。